

「澤井河川塾」近畿通信 Vol. 2 5  
( NPO 法人近畿水の塾ホームページ )

////////////////////////////////////  
**NPO 法人 近畿水の塾 会員募集中！！**  
////////////////////////////////////

**【河川塾NEWS】**

もう皆さまには、NPO 法人近畿水の塾の会員募集リーフレットと申込書のダイレクトメールは届いておりますでしょうか？

前号の河川塾通信で予告いたしましたとおり、NPO 法人近畿水の塾では現在、正会員、賛助会員ともに大々募集中です！

平成 8 年、枚方市で開催されました「第 4 回水環境シンポ&交流会近畿大会」で出会った仲間達から生まれたネットワーク団体「近畿水の塾」は、平成 1 2 年の『川に学ぶ』シンポジウム in 近畿の実行委員会に合流したことを契機に、より多様な活動展開を目指して、この 8 月に正式に NPO 法人となりました。

NPO 法人近畿水の塾は、いろいろな立場の人々が一緒に考え、それぞれができることをしながら、より良く本来の人と水との関わりを守り創っていくことを目指しています。

具体的には「人と水とのあるべき関係について考える、公開研究会を定期的開催」  
「人と人の幅広い交流を目指し、シンポジウムや出張教室を企画・実施」  
「市民的な視点、専門的な観点から提言・助言活動」  
「電子メールやホームページ、ニュースレター等を通じて幅広い情報提供」等の活動を行う予定です。

すでに、流域で実践活動をしている方、行政担当者、専門技術者、研究者など、さまざまな人たちが集まりつつあります。

申し込みはお手許の申込書または事務局[mizunojuku@yahoo.co.jp](mailto:mizunojuku@yahoo.co.jp)までご請求くださるか、ホームページ<http://www.geocities.jp/mizunojuku/>でダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、事務局までご返送（FAX 又は郵送）くだされば、事務手続き後、振込用紙等を送付いたします。

振込用紙の到着次第、入会金と年会費を振り込んでいただければ入会手続きは完了です。

さあ、あなたも NPO 法人 近畿水の塾の仲間になりませんか？

## 【前回河川塾の内容】

「第22回澤井河川塾」

日時：10月16日(水) 19:00~

出席：澤井、古川、白木茂、白木江、久保田、下村、寺川、勝山、小川、佐藤拓、佐藤侑  
(計11名)

内容：第一限 「NPO法人 近畿水の塾」のご紹介  
副理事長 澤井先生

この8月に誕生したNPO法人 近畿水の塾について、設立の経緯等のご紹介と入会のお誘いをいただきました。

また、法人設立記念会を来年一月の予定で計画されているそうです。(当日の出席者の方々から早速、お申し込みをいただきました。ありがとうございました！)

澤井先生曰く、「『近畿水の塾』は人材の宝庫ですので、これからNPO法人近畿水の塾としてできることを一緒になって考えていきましょう。我々の姿勢を貫くことで、こつこつと想いを伝えていくことが重要です。皆さんも一緒にNPO法人近畿水の塾の会員として、さまざまな活動に参加しませんか？」

第二限 澤井河川塾 フィールドワーク「大阪 川めぐり」の報告  
古川さん

10/12(土)に開催されました澤井河川塾フィールドワーク「大阪 川めぐり」に参加しましたので当日の様子と河川塾での報告会についてレポートします。

当日：

大阪府と大阪市では、「水の都大阪再生構想(案)」を策定し、「道頓堀川水辺整備事業」等の実施により、大阪市内の都市河川を魅力あふれる川として再生し、新「水の都・大阪」の創造を目指していくとしています。

川と人とのふれあいの機会が少ない都市河川の現状を鑑み、水質浄化や栈橋形式の遊歩道整備により、親水性の高い憩いの空間を創出する等、まちづくりと一体となった整備をすることで、都市河川の再生を図ろうというものです。

これらのおお阪らしい元気な取り組みを、東京からのゲストの方々とともに見学してきました。

スタート地点は、高麗橋下流の東横堀川水門です。

上流側にサブマージラジアルゲート、下流側にマイターゲートがあり、高潮対策、水質浄化、閘門機能を有した水門です。

これにより、東横堀川に大川のきれいな水を導水し、寝屋川の汚い水はシャットダウ

ンすることができるそうです。また、水門自体が水面下に潜り込むため舟運にも有利とのことです。

この辺りは川の上に高速道路の高架が被さっていて、川は全体的に暗いイメージがあります。

次に、大川の八軒屋河岸の船着場跡を見学しました。かつては京-大阪間の三十石船の船着場だったところで、今は天満橋駅・松坂屋裏の駐車場となっています。

天神橋から中之島公園に入って土佐堀川沿いに下流（淀屋橋方面）へ。



土佐堀川をすべるように走るアクアライナー



大阪「川めぐり」フィールドワーク参加者のみなさん

翌日の御堂筋パレードのイベントもあり、賑やかで人通りも多いのですが、残念ながら公園自体が「川」の方に向かって作られていないため、「川」を見ている人はほとんど見かけることができませんでした。

しかし浅瀬にはボラの幼魚らしき魚影がそこそこ見えるほどの透明度もあり、思ったより水質は良さそう？

市役所前から、北側の堂島川沿いにコースを変え、「中之島遊歩道」を歩きました。

この遊歩道は、鋼矢板護岸の耐震補強を兼ねて作られたユニークな『遊歩道』です。遊歩道の下は近隣ビジネスビルの駐車場となっており、徹底した土地の有効利用が大阪人らしいかも・・・

途中でバスに乗り換えて、来年3月の「世界水フォーラム」の会場となる大阪国際会議場前に到着しました。

フォーラム開催時には前面の堂島川に公共棧橋が作られ、上流の大阪城方面からも船で行き来できるようになるとか。

しかし、さらに下流にはUSJ行き観光船乗り場の棧橋もありました。

この先の「阿波座」から「大阪ドーム前」まで地下鉄で移動し、大阪ドーム前で木津川のスーパー堤防を橋の上から見学しました。素人目にはどこからどこまでが堤防で何がすごいのかはよくわからなかったのですが、壁のような堤防のある区間と堤防がなくて親水テラスのある区間があり、ここが『スーパー堤防』なのかな、と思いました。



「USJ行き観光船乗り場」 湊川スーパー堤防の親水テラス (右手が大阪ドーム)」

また川と話題が少し離れますが、大正橋のたもとには「江戸時代の地震による津波が、この地域に大きな被害をもたらした・・・」との石碑があり、当時の人々の津波に対する無知（津波の前に魚がよく採れたとか、地震のあとに船の上に避難した等）が、この津波による被害をより大きくしたと、後世の人々に伝えようとしているものでした。当時の人々の思いが痛いほどよく伝わってきて、厳粛な気持ちになりました。

さて、ここからさらに市バスで湊町まで移動し、湊町リバープレイスへ。

（以下は、古川さんのレポートと西河さんの写真より）

湊町リバープレイスは阪神高速道路の湊町出入口とビルや商業施設が一体となって作られた立体道路施設だそうです。

道頓堀川の遊歩道と立体広場、棧橋などがあり、川の近くでゆったりとくつろげるスペースとなっているようです。

おしゃれなレストランやショップも多く、最近の若者たちの新しいデートスポットになっているとか。

ここから少し上流の“あのひっかけ橋こと、戎橋”付近では、道頓堀川の両岸に遊歩道の棧橋が平成15年度の完成を目指して工事中とのこと。

これが完成すれば、見慣れた道頓堀の風景もガラリと変わるかもしれませんね。



夕日に輝く道頓堀川水門」



なにわの新名所(?)湊町リバープレイス」

河川塾：

河川塾の間では以上の報告を資料を使った古川さんの説明とモニター上でのスライドショーで皆さんにご紹介しました。

その後の皆さんのご意見としては、

- ・ けっこう水がきれいなのに、生きものが姿が少ないのは、川岸に土がないからだ。
- ・ 人々の目を“川”に向けるキーワードは舟運。大型船以外の一般船が利用できるスロープが川岸にあれば・・・
- ・ 湊町リバープレイスや道頓堀の棧橋計画に見られるように、大阪には「何でも新しいことを始めよう」というパワーを感じる。
- ・ 「東京の街はお上が作った。大阪のまちは町衆が作った」と云われるように、古くは道頓堀や淀屋橋のように民間の財力と知恵を利用して作られたものが多い。
- ・ 都市の中で何を求めるのか？失われたものを求めるのであれば、『川を生かしたまちづくり』とはアプローチが違うのでは？

といったものがあげられました。

<感想>

「大阪 川めぐり」では、まさしく大阪の都心を「川」を伝ってぐるっと1周したことになるのですが、普段知ってるつもりの街中でも、「川」をほとんど意識してなかったせいか、真新しい水門や堤防など、見るものすべてが新鮮に映りました。

しかし、そんな中にも古い石碑や天神さんのお旅所の話など、歴史あるエピソードも聞かせてもらい、新しい大阪の中に昔ながらの『おおさか』の姿も垣間見えた気がしました。

フィールドワーク当日は東京のゲストの方々にも、色々なお話を伺いながら、そぞろ歩きができて楽しかったです。どうもありがとうございました。

これからもこんな「川めぐり」ができればいいですね。

[ 侑 ]

## 【次回の予告】

次回、「澤井河川塾」のご案内です。

### 第23回「澤井河川塾」

日時：11月20日(水) 19:00～21:00  
・・・毎月第3水曜日開催です！！

場所：センター

内容：第1限(19:00～20:20)

シリーズ マイリバー紹介  
「近木川 汽水ワンド」 - 白木さん  
第2限(20:30~21:00)

報 告 会

『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会 in 北九州』  
10月12日~14日に北九州にて開催されました  
標記について、福廣さんからご報告いただきます。

持ち物 : 情報・資料提供、大歓迎です！  
みなさん、どうぞふるってご参加ください！！

## 【川の情報ボックス】

### イベント情報

「身近な自然を体験する三重県民デー」

日程：平成14年11月23日(祝)

集合場所：名張産業会館(アスピア)正面玄関付近

受付：9:30~

解散予定時刻：15:00

内容：「名張川リバーウォッチング」

参加申込：川の会・名張 担当-川上さん 0595-63-0260

<http://www.eco.pref.mie.jp/kouhou/kyou/200210151157230700/>

[身近な自然を体験する県民デー広報チラシより転載]

### イベント報告(速報版)

「恩智川フェスティバル2002」

“とりもどそう！身近な自然”

日程：平成14年10月20日(日) 10:00~15:00

場所：柏原市 大和川河川敷緑地公園(柏原市役所前)

主催：恩智川環境ネットワーク会議

昨年度河川塾にて取り上げました八尾の長瀬川でご活躍されている「NPO アクア

フレンズ」さんからの誘いで、「恩智川フェスティバル 2002」に事務局（佐藤拓）が見学に参りましたので、簡単ですがご報告させていただきます。

当日は雨模様にもかかわらず、会場の大和川河川敷は多くの環境団体の出展ブースとガレージセール、そしてたくさんの市民参加者であふれかえっており、地域でのこの問題の関心の高さが感じられました。

「恩智川フェスティバル」は恩智川環境ネットワーク会議が中心に、恩智川の流域である八尾市、東大阪市、柏原市の3市を毎年持ち回りで開催されています。

今回の「恩智川フェスティバル」がなぜ大和川河川敷で？とは思いましたが、実はこの大和川が恩智川の上流端であったからとのこと。会場の片隅に残されている樋門跡から昔は取水していたとのことでした。

フェスティバルは出展ブースとステージ部門に分かれ、出展ブースでは「アクアフレンズ」をはじめ環境活動団体や日本での市民活動をモデルとしたタイ・ランブーン市での取り組みの紹介、またステージでは子どもたちの「川」をフィールドとした環境学習成果の発表や恩智川環境宣言の宣誓等が行われていました。

恩智川と言えば「恩智川治水緑地」の“カワセミ”の話が私には印象深いのですが、ひとつの小さな生きものの生息が関心の少なかった人々の心を動かし、「治水緑地」内にサンクチュアリを作らせただけでなく、このような流域をつなぐ「川」を中心としたネットワークにまで発展するに少なからず影響を与えたことに、大きな感銘を受けました。

[ 拓 ]

## 【事務局より】

皆さん、NPO法人 近畿水の塾での「澤井河川塾」の執行体制が決まりました。

常任講師はもちろん澤井先生。河川塾企画運営担当は福廣さん、古川さん、西河さんをお願いすることとなりました。

「川」に関する新しい企画はもちろん、これからもより充実した河川塾になることと思います。

ますます活発で楽しい「澤井河川塾」をよろしく願いいたします。